

御挨拶

日頃から、国際交流推進室の活動へのご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。ここに、国際交流推進室ニュース15号をお届けいたします。

この頃は、海外からの訪問団や講演も多く、全ての記事の写真を掲載するには紙面が足りないほどです。2016年度後半から本年度初めにかけての本学部における国際交流関連の記事をご紹介します。今後とも、ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

学内行事

[海外留学説明会]

2017年4月11日に、繊維学部で海外留学説明会が開催され、留学に関心の高い学生30名以上が参加しました。大学からは、交換留学を中心に、留学の種類、準備、奨学金などについて説明がありました。学生による発表では、「ビタテ！留学 JAPAN」の2期生で修士課程2年の小林祐輝さんが「トビタテ」の魅力についてプレゼンし、全国の個性豊かなトビタテ生と友人になれることや、トビタテ生としての様々な活動について話してくれました。また、修士課程2年の石川康伸さんはイギリスのマンチェスター大学へ6ヶ月間交換留学した経験を、修士課程1年の長野友哉さんはベトナム FPT 大学での1ヶ月間の短期プログラム参加の体験を発表しました。どの学生の発表も、留学しなければ経験できない興味深く、貴重な内容で、参加学生は熱心に聞き入るとともに、質疑応答も活発に行われました。

[留学生ガイダンス・歓迎交流会]

2017年5月、今年も全留学生を対象にガイダンスと新入生歓迎交流会を開催しました。ガイダンスでは東京入国管理局長野出張所、上田警察署、上田市多文化共生推進協会より来賓をお招きし、留学生が日本で生活するにあたり大切なお話をいただきました。

引き続き、マルベリーホールにて歓迎交流会を行いました。今年度より上田キャンパスにきた留学生が自己紹介を行い、学年、専攻、国籍の異なる留学生同士が交流するよい機会となりました。



留学生歓迎交流会の様子

新規協定校の締結

2016年11月に、デンマーク工科大学土木学部と学部間交流協定を締結しました。また、現在フランスの ENSISA と新たにダブル・ディグリー・プログラム協定の締結を進めています。ENSAIT(フランス)に続き繊維学部で2校目のダブル・ディグリー・プログラムの締結になります。繊維学部は、これまで65の大学・研究機関と協定を締結していますが、今後も、世界の様々な大学との協定締結を目指すとともに、学生の交換留学を推進していく予定です。

訪問

2017年4月、大学間交流協定校の中国河北医科大学より5名の訪問を受けました。

繊維学部紹介の後、バイオエンジニアリングコースの施設を見学していただき、骨のコンピュータシミュレーションに関するプレゼンテーションをはじめ、内視鏡手術支援ロボット操作実演、ロボティックウェア curara®のデモンストレーションなどをご覧いただきました。

その他にも、2月には韓国の新羅大学校、中国の Guangdong Jundong Technology 社、4月にはタイの Debsirinromkloa 高校より訪問を受けました。



中国河北医科大学来訪の様子

留学生の声：新見嘉崇さん

2017年2月からチェコ共和国のリベツ工科大学へ留学している修士課程繊維学専攻所属の新見嘉崇です。トビタテ！留学 JAPAN の5期生として支援を受け、研究活動とアパレル工学の技能習得に励んでいます。本大学には、信州大学と同様に国内唯一の繊維学部があるのですが、専門性の強いコースが充実しており信州大学とは異なる特色を有しています。チェコの話にはなりますが、チェコ人で長野県を知らない人がいないことには驚きました。1998年の長野オリンピックでアイスホッケー競技優勝を果たしたことを国民全体が認識しているのです。自国愛がとても強く、かつ、誇り高い国民性を持っている彼らとの会話はいつも充実しています。チェコの誇りといえば、“Beer Country”であることは外せません。EUが提案した酒税の値上げを拒むほど国家規模でビールが愛されていることには感心しました。そんなチェコでの生活で一番幸せな瞬間は、スポーツで汗を流した後、安くて美味しいビールと共に友人たちと時間を過ごすことです。勤勉でありながらも余暇を大切にしているチェコの生活スタイルを意識し、残りの留学生活も充実したものになりたいと思います。



留学先での充実した研究と交流の日々
(後面左から一人目が新見君)

繊維学部留学生の動向

2017年3月24日に学位授与式が開催され、3名の博士課程学生、11名の修士課程学生、2名の学部学生を送り出しました。4月には、3名の博士課程学生、3名の修士課程学生、3名の学部学生、1名の研究生が入学しました。これで、6月現在の繊維学部(修士課程、博士課程含む)の留学生の総数は64名となりました。

繊維学部への留学状況(課程と出身国)

博士課程	22
修士課程	22
学部	14
研究生等	6
計	64

中国	31
マレーシア	5
韓国	3
ベトナム	6
インドネシア	3
パキスタン	3
モンゴル	3
フランス	2
タイ	1
ドイツ	1
モロッコ	2
台湾	1
イラン	1
インド	1
計	64

留学生代表ご挨拶

いつも信州大学繊維学部外国人留学生支援の会の会員の皆様にはたくさんのご支援をいただき、感謝しております。上田キャンパスには、数多くの留学生が在籍しています。私たちが日本の生活に早く慣れるためには、一生懸命日本語を勉強するだけでなく、日本人の先生方や学生との交流も重要です。留学生会は、留学生の出身国と日本を繋ぐため、また留学生が充実した留学生活を送れるように、いろいろな楽しい活動を行っています。今後も日本人学生、教職員との交流を深める活動、イベントを行い、留学生会を盛り上げていきたいと考えています。最後になりますが、いつも私たちに暖かい支援をしてくださる「信州大学繊維学部外国人留学生支援の会」に感謝を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

繊維学部留学生代表 劉 欣(りゅう きん)

国際交流推進室 室員紹介

平林公男(室長, 応用生物科学科)
 西川 敦(副室長, バイオエンジニアリングコース)
 金 翼水(副室長, 機能機械学コース)
 鮑 力民(機能機械学コース)
 ハニウツドマイケル(感性工学コース)
 平田雄一(応用分子化学コース)
 金井博幸(先進繊維工学コース)
 福長 博(ファイバー材料工学コース)
 パタキートツ(バイオエンジニアリングコース)
 キャシーマクナミー(応用分子化学コース)

本ニュースへの意見、要望などありましたら、国際交流推進室メールアドレス(fkokusai@shinshu-u.ac.jp)へお寄せください。

◆国際交流推進室ホームページ◆

<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/textiles/exchange/>